

# 第105回(令和8年度)全国高校サッカー選手権三重県大会要項

主催 三重県高等学校体育連盟、(一社)三重県サッカー協会、三重テレビ放送株式会社  
共催 三重県教育委員会  
主管 三重県高等学校体育連盟サッカー専門部

1 期日 1回戦 2026年10月17日(土) 2回戦 2026年10月24日(土)  
3回戦 2026年10月31日(土) 準々決勝 2026年11月 3日(火)  
準決勝 2026年11月 8日(日) 決勝 2026年11月14日(土)  
予備日 2026年10月18日(日)、25日(日)、11月 1日(日)

2 会場 1回戦～3回戦 NTN総合運動公園サッカー場、四日市市中央フットボール場、  
三重交通Gスポーツの杜鈴鹿、海星高校、四日市中央工業高校、  
伊勢フットボールヴィレッジ、松阪市総合運動公園、メイハンフィールド 等  
準々決勝 伊勢フットボールヴィレッジ  
準決勝 四日市市中央陸上競技場  
決勝 三重交通Gスポーツの杜鈴鹿(メイン)

## 3 参加資格

- ①2026年度日本サッカー協会に加盟登録された高等学校チームで、当該団体に登録された生徒であること。
- ②選手は、平成19(2007)年4月2日以降に生まれた者とする。ただし、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。(「出場」とは登録やエントリーではなく、試合への出場回数を指し、専門部が責任を持って調整・確認する)
- ③チームの編成において全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。ただし、合同チームについては別紙「部員不足による合同チームの大会参加について」参照。
- ④ア) 転校後6か月未満のものは参加を認めない。ただし、一家転住等やむを得ない場合は、都道府県高体連会長の許可があればこの限りではない。  
イ) 高体連加盟チームに所属していた選手は他校において6か月間は出場できない。  
ウ) 転校の有無にかかわらず、他の連盟から高体連加盟チームに移籍する場合は上記ア)に準ずるものとする。ただし、規定ウ)の適用は当該年度内に限るものとする。  
**※他の連盟とは、社会人連盟やクラブユース連盟など高等学校体育連盟以外の全ての連盟をさす。**
- ⑤選手は、当該学校長の参加承諾を必要とする。
- ⑥引率者は、大会派遣期間中の生徒の引率責任(指導、法的責任)を負う

## 4 競技方法

- ①トーナメント方式により、優勝・準優勝を決定する。3位決定戦は行わない。
- ②試合時間は80分とし、ハーフタイムのインターバルは原則として10分とする。  
勝敗が決しない場合は20分間の延長戦を行う。尚、決しない場合はPK方式により次回戦進出チーム・優勝チームを決定する。  
延長戦に入る前のインターバルは原則として5分とし、PK方式に入る前のインターバルは原則として3分とする。

## 5 競技規定

- ①2026-2027年日本サッカー協会制定の『競技規則』による。※脳震盪による交代枠の追加を適用する。  
**※キャプテンオンリーを適用し、「キャプテンオンリー」ガイドラインに則り実施する。**
- ②各試合ごとの登録は20名以下とし、最大9名を交代要員として登録できる。登録された交代要員の中から、5名までの交代が認められる。
- ③準決勝及び決勝については、80分間の交代回数は、各チーム最大3回とする(1回に複数人を交代することは可能)。ただしハーフタイムでの選手交代は、交代回数に含まれない。
- ④準決勝及び決勝については、延長戦が行われる場合、さらに1名かつ1回の交代を行うことができる(直前の80分間と合わせて最大6名かつ4回の交代が可能となる)。延長戦開始前および延長戦のハーフタイムの交代は、回数に含まれない。

## 6 懲罰

- ①本大会は、本協会「懲罰規程」に則り、大会規律委員会を設ける。
- ②規律委員会は、2種委員長、2種副委員長、2種審判委員長、2種技術委員長で構成する。
- ③本大会期間中に警告を2回受けた者は、次の1試合に登録することができない。
- ④本大会中において、退場を命ぜられた者は、次の1試合は登録することができない。  
それ以降の処置については、大会規律委員会において処置を決定する。

## 7 組合せ(シード)について

### ・プリンス1校かつプリンス校以外が県総体優勝の場合

第1シード:プリンス校と県総体優勝校が抽選で☆1・☆2に入る

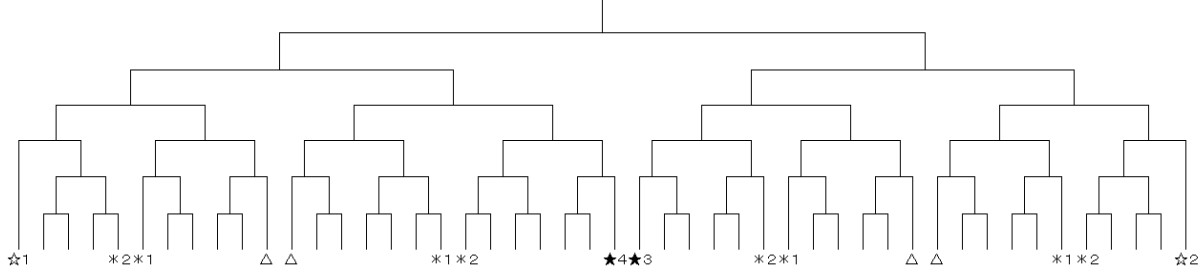
第2シード:県リーグ最上位校と県総体準優勝校が抽選で★3・★4に入る(1校になる場合がある)

第3シード:第1・第2シードで★4に空きがある場合、県リーグの順位に準じて★4に入る

第4シード:第1～第3シード校を除く県リーグの順位に準じた4校が、抽選で△に入る

第5シード:第1～第4シード校を除く県総体3位校(2校)は、  
抽選で県リーグで下位のチームの入った△と同一ブロックの\*1に入る。

第6シード:第1～第5シード校を除く県総体5位校(4校)は、抽選で県リーグで下位のチームの入った  
△と同一ブロックの\*1に入る。\*1に空きがない場合、抽選で\*2に入る。



### ・プリンス1校かつプリンス校が県総体優勝の場合

第1シード:プリンス校が抽選で☆1に入る

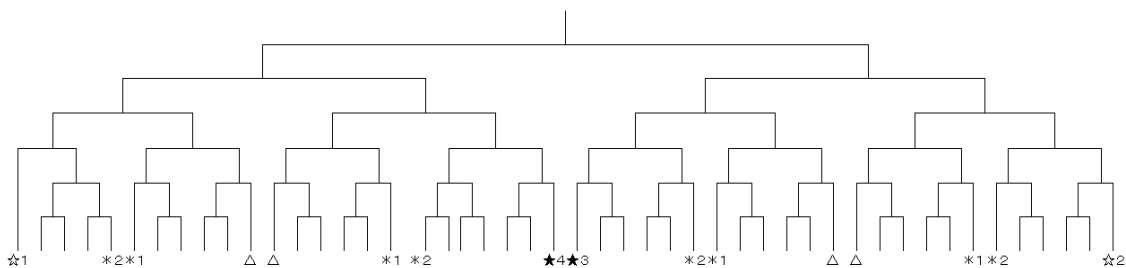
第2シード:県リーグ最上位校と県総体準優勝校が、抽選で☆2・★3に入る(1校になる場合がある)

第3シード:第1・第2シードで★4までに空きがある場合、県リーグの順位に準じて★4まで埋める

第4シード:第1～第3シード校を除く県リーグの順位に準じた4校が、抽選で△に入る

第5シード:第1～第4シード校を除く県総体3位校(2校)は、  
抽選で県リーグで下位のチームの入った△と同一ブロックの\*1に入る。

第6シード:第1～第5シード校を除く県総体5位校(4校)は、抽選で県リーグで下位のチームの入った  
△と同一ブロックの\*1に入る。\*1に空きがない場合、抽選で\*2に入る。



## 8 参加申込み

大会参加申込み:所定の申込用紙にて、申し込むこと。

〆切 2026年 7月 9日(木)必着 申込先 各地区委員

(申込用紙原本は、選手権大会抽選会受付で提出)

## 9 表彰

優勝以下、第3位チームまでを表彰する。

## 10 選手の用具

- ①本競技会に登録した正・副2組のユニフォーム(シャツ、ショーツ及びソックス)を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。
- ②正・副の2色については明確に異なる色(ユニフォームシャツは黒色系統は不可)とする。
- ③主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
- ④前項の場合、主審は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。
- ⑤ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける場合、同系色または透明なものとする。また、外部にサポーター等を着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。
- ⑥アンダーシャツの色はユニフォームシャツに使用されている色のものを着用する。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。
- ⑦アンダーショーツおよびタイツの色はユニフォームショーツに使用されている色のものを着用する。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。
- ⑧キャプテンはアームバンドを着用しなければならない。アームバンドの色や文字、デザインについては問わない。(単色でなくてもよい。)ただし、柔らかく、軽い材質でできているものに限る。

## 11 その他

- ①大会中の傷害等の応急処置は本部で行うが、以後の責任は負わない。
- ②雨天決行とする。(ただし、朝6:00の段階で県内全域または一部で暴風警報・暴風雪警報・特別警報・地震警戒宣言が発表されている場合、競技は中止とする。)
- ③優勝校は第105回全国高校サッカー選手権大会の出場権を獲得する。
- ④副審は審判服を着用すること。